

地球深部探査船「ちきゅう」寄港について

「ちきゅう」とは・・・

地球深部探査船「ちきゅう」は、国の研究機関である国立研究開発法人海洋研究開発機構(JAMSTEC)が所有する船舶で、人類史上初めてマントルや巨大地震発生域への大深度掘削を可能にする世界初のライザー式科学掘削船である。

巨大地震・津波の発生の仕組みの解明、海底下生命圏の解明、人類未踏の地球内部深くに存在するマントルへの到達、新しい海底資源の解明など、人類の未来を切り開く様々な成果をあげることを目指しています。

(※ライザー式とは・・・ライザーパイプというパイプ(内径約50cm)の中にドリルパイプという掘削用パイプを通し2重管構造とし、船上から送った特殊な泥水をドリルパイプの先端から噴出させながら地層を掘り進め、ライザーパイプとドリルパイプ間を通して船上まで泥水を循環させる掘削方法。)

寄港理由

平成28年9月10日から11月10日までの2ヶ月間、高知県室戸沖の南海トラフのプレート沈み込み先端部で、海底堆積物を基盤岩まで約1.2キロ掘削し、様々な科学的調査を行うIODP(国際深海科学掘削計画)第370次研究航海「室戸沖限界生命圏掘削調査:T-Limit」が実施されることとなり、研究航海終了後、高知新港に寄港し、船内の一般公開を実施することで、県民・市民の同機構や研究に対する関心を高めるとともに、理解を深めようとするもの。

寄港日程 平成28年11月11日(金)～16日(水) 高知新港7-2岸壁

一般公開 11月12日(土) 10:00～ 寄港歓迎セレモニー
(予定) 10:30～ セレモニー参加者特別見学
13:00～16:00 一般見学(初日)
11月13日(日) 10:00～16:00 一般見学(2日目)

- ※ 高知新港への寄港は平成18年以来、10年ぶり2回目
- ※ 平成28年度一般公開は宮城県石巻市と本市のみ(予定)
- ※ 一般公開は稀で、昨年までの過去5年間で1回(横浜市)のみ

